



ほこた市 議会だより



平成30年銚田市消防出初式

平成29年第4回(12月)定例会

市長所信表明／議員紹介／議員名簿	.. P2
議場座席表／委員会の構成	.. P3
平成29年第4回定例会の日程・概要	.. P4
平成29年第4回定例会 主な質疑／主な討論	.. P5
提出議案と審議結果	.. P4～5
各議員の賛否／議員活動状況	.. P6
ここが聞きたい! 一般質問	.. P7～14
主な議会の動静	.. P14
委員会活動報告	.. P15～16
請願審査	.. P17
議会報告会のお知らせ	.. P17
傍聴者の声 平成30年第1回(3月)定例会の予定	.. P18

議会映像配信のお知らせ

**生中継・録画中継で
本会議を傍聴できます**



銚田市議会

検 索

- ・議会ホームページ内の「議会中継」をクリック。
- ・「ライブ中継」・「最新の録画を見る」を選択してご覧ください。※ライブ中継は本会議当日のみ
- ・パソコンやスマートフォンなどからでも視聴できますので、ぜひご覧ください。

岸田市長就任所信表明

わが市にとって最大かつ喫緊の課題は「行政改革」です。「市民が主役」のまちづくりのため「地域相談課」を設立し、地域に寄り添う体制づくりを進めます。また、各種委員会等への女性委員登用、女性管理職の登用を進めてまいります。

2つ目は「子育て・教育環境の整備」であります。産前・産後ケア体制の充実など、まずは安心して出産できる環境づくりに努め、学校及び学童保育へのエアコンの設置、部活動指導を補助する外部指導者の雇用などを行い、未来を担う子どもを育てる環境づくりを実現してまいります。

3つ目は「頼れる福祉」の実現です。待機高齢者ゼロに向けたサービス付き高齢者向け住宅の整備促進、健康体操やスポーツ大会開催を通じた健康寿命の延伸など、安心して過ごせる老後に寄与します。

4つ目は「便利なインフラ」です。安全・安心な社会を実現するため、通学路を中心にLED防犯灯を設置し、住宅や道路、橋りよう、公園等の長期視点に立ったインフラ整備を進め、防災・減災につなげていきます。

5つ目は「活気ある地域」の実現です。地元優先の入札制度への改革、地域で雇用

を促進する企業の誘致、企業への税制優遇や家賃補助など、閉塞感漂うまちを、新しいビジネスが始まるまちへと変えていきます。

最後に「誇れるまち」。鉾田市は農業産出額全国第2位を誇るまちです。今まで以上に農業を推進するため、グローバルGAPに取り組む農家への助成を検討し、首都圏への販路拡大及びトップセールスによるPR促進を行うことで世界に誇る農業を発信していきます。

議員紹介



いしづ たけよし
石津 武吉

①経済建設常任委員会
②8回(旧大洋村議6回)
③無所属



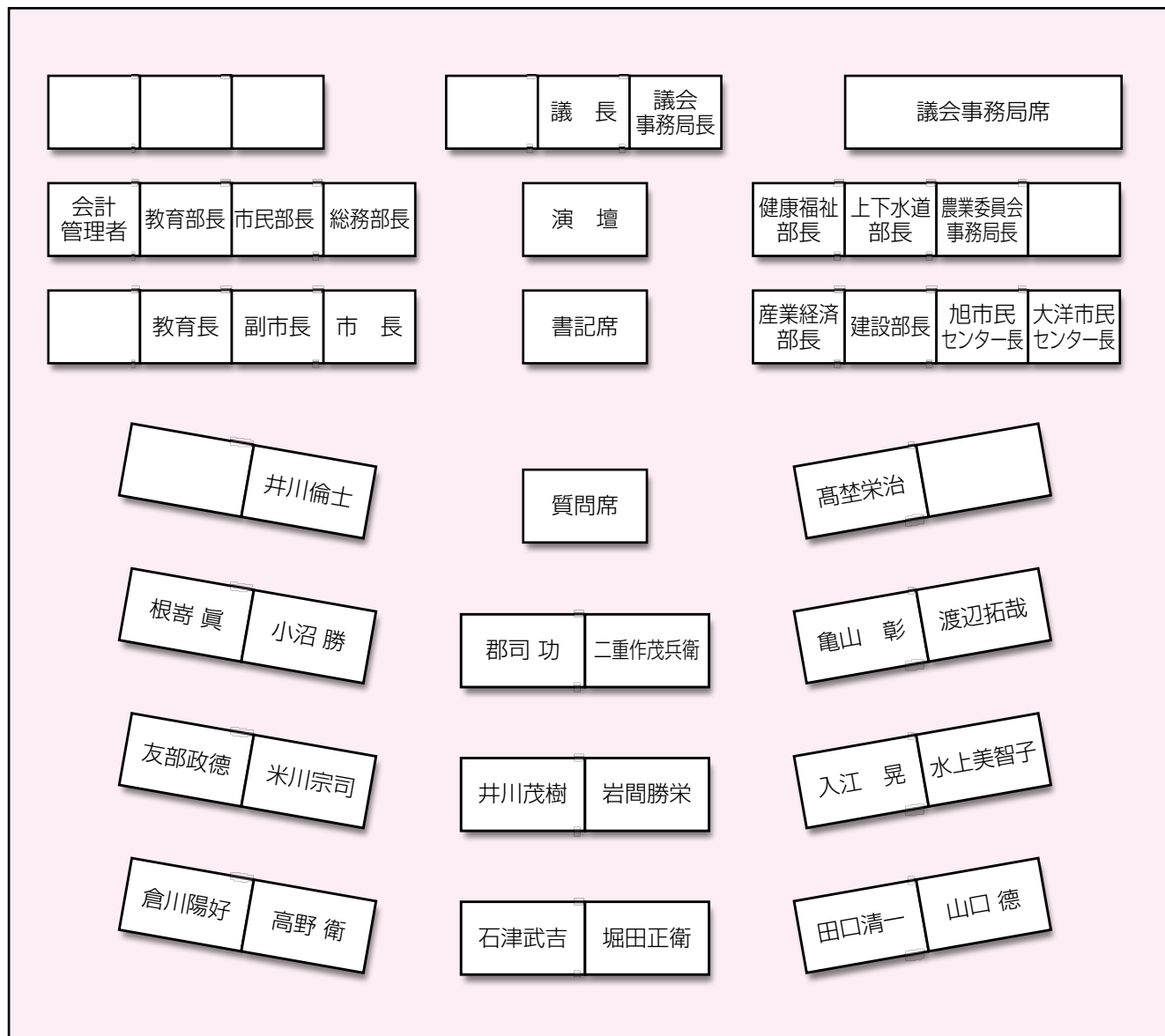
たかの えいじ
高埜 栄治

①厚生文教常任委員会
②1回
③無所属

10月22日に執行された市議会議員補欠選挙で当選した議員を紹介します。

(注)写真欄中の丸数字
①所属常任委員会
②当選回数(合併前を含む)
③所属政党

鉾田市議会議席表 (平成29年12月1日現在)



■委員会の構成が変更となりました。

委員会名	委員長	副委員長	委員	定数
経済建設常任委員会	倉川 陽好	山口 徳	入江 晃 石津 武吉	6
			高埜 栄治 井川 倫士 小沼 勝	7
厚生文教常任委員会	根寄 眞	高野 衛	水上 美智子 米川 宗司	6
			井川 倫士 郡司 功 入江 晃	9
議会広報編集委員会	渡辺 拓哉	小沼 勝	石津 武吉	
原子力施設の安全に関する調査特別委員会	米川 宗司	井川 倫士	高埜 栄治 渡辺 拓哉 亀山 彰	
			根寄 眞 入江 晃 友部 政徳	
			石津 武吉	

※変更となった議員は太字で表記してあります。

議席番号	氏名	党派	住所
20	倉川 陽好	無所属	札137番地2
19	高野 衛	日本共産党	青柳2786番地13
18	石津 武吉	無所属	上沢1469番地
17	堀田 正衛	無所属	徳信3107番地
16	田口 清一	無所属	勝下244番地1
15	山口 徳	無所属	大戸544番地
14	友部 政徳	無所属	畑田1994番地
13	米川 宗司	無所属	沢尻9番地
12	井川 茂樹	無所属	箕輪1966番地
11	岩間 勝栄	無所属	勝下770番地
10	入江 晃	公明党	鹿田63番地1
9	水上 美智子	公明党	飯島909番地39
8	根寄 眞	無所属	二重作951番地
7	小沼 勝	無所属	箕輪2845番地2
6	郡司 功	無所属	大和田188番地7
5	二重作 茂兵衛	無所属	借宿1383番地
4	亀山 彰	無所属	箕輪1708番地
3	渡辺 拓哉	無所属	安房1405番地37
2	井川 倫士	無所属	畑田2290番地7
1	高埜 栄治	無所属	大和田1020番地1



平成29年第4回定例会の主な日程

- 12月1日(金) 本会議
 - ・議席の指定
 - ・常任委員会委員の選任
 - ・特別委員会委員の選任
 - ・委員長報告
 - ・所信表明並びに市長提出議案の説明
- 12月5日(火) 本会議
 - ・一般質問
- 12月6日(水) 本会議
 - ・一般質問
- 12月7日(木) 本会議
 - ・一般質問
 - ・追加議案の提案説明
- 12月7日(木) 原子力施設の安全に関する調査特別委員会
- 12月11日(月) 総務企画常任委員会
- 12月12日(火) 厚生文教常任委員会
- 12月13日(水) 経済建設常任委員会
- 12月15日(金) 本会議
 - ・議案の訂正
 - ・議案第1号、第23号質疑・討論・採決
 - ・請願第29、4号の委員長報告・質疑・討論・採決
 - ・銚田市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

第4回定例会の概要

平成29年第4回定例会は、12月1日から12月15日までの15日間の会期で開かれました。議案は、市長からスクールバス運行に関する条例の一部改正などの条例案、平成29年度一般会計等の補正予算案、市道路線の変更及び認定、監査委員の選任、人権擁護委員の推薦、教育委員会委員の任命など15件が提出されました。また、追加議案として人事院勧告に伴う職員給与に関する条例案及び補正予算案の8件が提出されました。

一般質問は、13人の議員から通告があり、急傾斜地の調査と対応について、(仮称)銚田市民交流館の建設について、県内一の基金残高比率について、小学校統合後の跡地利用について、国体会場の防犯対策についてなどの質問が行われました。

各常任委員会では、所管事務の調査を行いました。

原子力施設の安全に関する調査特別委員会では、継続審査となっていた東海第二原子力発電所の運転期間延長を行わないことを求める請願書の審査を行いました。

今定例会では、スクールバス運行に関する条例案が否決され、監査委員の選任が無記名投票の結果、賛成7、反対12(うち白票2)で同意されませんでした。その他の21議案は可決され、請願は不採択となりました。

また、銚田市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行い、指名推選により、委員4名、補充員4名を選出しました。

平成29年第4回定例会

〈本会議〉12月15日

議案第4号

銚田市スクールバス運行に関する条例の一部改正について

○提案趣旨

本案は、スクールバス利用に係る保護者負担を軽減するため所要の改正を行うもの。

主な質疑

問 (堀田正衛議員) 無料となり2 km未満の児童がバスを希望した場合、現在のバスの台数で対応できるのか。

答 (教育部長) 現在のシミュレーションでは、2 km未満の児童がバスを希望した場合、3台程度の増車となる見込みです。まずは、保護者の意向調査を早急に実施します。

問 (亀山 彰議員) 今後5年間の予算について、財源の根拠をお示しいただきたい。

答 (総務部長) 市全体の予算の中から、年度計画に基づき、基金の取り崩しなども含めトータルで判断します。

主な討論

○反対討論

(石津 武吉議員)

本案は、あと半月ほどで施行期日を迎える大変急いで作った条例案であります。その中において、2 km未満の児童について何ら対策がされておらず、旭東小学校についても補助金だけを交付し、その他の遠距離通学等に対しても何らの対処、意向調査等も行われておりません。急ぐことなく合意形成を得ながら、来年4月1日に実行できるようなきめ細やかな対策が必要と考えます。これらの観点から本案に反対します。

○賛成討論

(高野 衛議員)

本案については、義務教育無償の原則から評価します。市長の選挙時の公約であり、市民は賛同しています。住民から、新たな負担は重すぎる、市の都合で統廃合したのだから無料にして欲しいといった意見も届いています。今後、2 km未満の徒歩通学児童の利用や自転車通学児童への補助等負担軽減も考えるべきと考えます。県内でも20市町村がスクールバスを無料で運行しておりますので、本案に賛成いたします。

提出議案と審議結果

● 全員賛成
▲ 賛成多数
△ 賛成少数
△ 継続審査

平成29年第4回銚田市議会定例会

条例等の一部改正

- 銚田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 銚田市地域活動支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ▲銚田市スクールバス運行に関する条例の一部改正について
- 銚田市職員の給与に関する条例等の一部改正について

平成29年度補正予算

- 専決処分の承認について
平成29年度銚田市一般会計補正予算(第3号)
2981万1千円の増
- 平成29年度銚田市一般会計補正予算(第4号)
5億537万8千円の増
- 平成29年度銚田市介護保険特別会計補正予算(第2号)
265万5千円の増
- 平成29年度銚田市一般会計補正予算(第5号)
3200万円の増
- 平成29年度銚田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
83万8千円の増
- 平成29年度銚田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
41万7千円の増

- 平成29年度銚田市介護保険特別会計補正予算(第3号)
276万3千円の増
- 平成29年度銚田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
22万7千円の増
- 平成29年度銚田市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
21万8千円の増
- 平成29年度銚田市水道事業会計補正予算(第2号)
資本的支出
9万9千円の増

人事

- ▲銚田市監査委員の選任について
- 銚田市固定資産評価審査委員会委員の選任について(3件)
- 人権擁護委員の推薦について
- 銚田市教育委員会委員の任命について(議案第14号)
- 銚田市教育委員会委員の任命について(議案第15号)

その他

- 市道路線の変更について
- 市道路線の認定について

請願

- ▲東海第二原子力発電所の運転期間延長を行わないことを求める請願書



ここが聞きたい!! 一般質問

平成29年第4回鉾田市議会定例会一般質問通告順

議員名	質問事項
倉川 陽好	1.「明治150年」の取組みについて 2.急傾斜地の調査と対応について 3.農福連携について 4.街づくり計画について 5.生活道路の整備について
石津 武吉	1.県内一の基金残高比率について 2.スクールバスの無償化について 3.小学校の教室へのクーラー設置について 4.メロンサミットへの議員参加について
小沼 勝	1.選挙について 2.公共施設の洋式トイレの設置状況について 3.市長選挙における公約において期待される効果と問題点について 4.財政事情について
二重作茂兵衛	1.(仮称)鉾田市民交流館について 2.6つの市政基本方針について 3.道路整備の進捗状況について
根寄 眞	1.(仮称)市民交流館建設計画について 2.市民が主役について 3.北浦の水質について 4.第17回世界湖沼会議について 5.鹿島灘海浜公園ならびに大竹海岸周辺の地域振興について
水上美智子	1.地域防災力の向上について 2.いじめ防止について 3.市長が掲げる6つのチャレンジについて
井川 倫士	1.効率的で効果的な行政運営のための市役所組織について 2.新市政での子育て支援策のビジョンや施策について 3.障がいがあっても自分らしくあるための環境づくりについて 4.文化交流・発信の拠点づくりについて

議員名	質問事項
高野 衛	1.市長の市政運営方針について 2.来年度の予算編成方針について 3.少子化社会の対応について 4.中小・小規模事業者の産業振興について 5.道路整備の早期事業化について 6.東海第2原発再稼働、運転期間延長問題について 7.オスプレイ飛来とB2核兵器搭載可能な戦略爆撃機飛来計画への抗議について
郡司 功	1.岸田市長の公約のうち3点について
高埜 栄治	1.鉾田市行政の取り組み姿勢と希望ある変革について 2.百里基地ならびに茨城空港のリスクマネジメント体制づくりと騒音・危険地域支援策について 3.鹿島臨海鉄道大洗鹿島線を核とする公共交通環境の高度化と危機管理について 4.改正介護保険法施行に伴う介護費抑制に関する課題と対策について
渡辺 拓哉	1.(仮)市民交流館について 2.優先してやることについて 3.小学校統合後の跡地利用について 4.犬猫の去勢、不妊手術の助成金について 5.鉾田のお祭について
入江 晃	1.市民交流館建設について 2.国体会場の防犯対策について 3.広域ごみ処理場について 4.エコハウス周辺の環境整備について
亀山 彰	1.市民交流館建設について 2.地域振興について

ホームページで一般質問の会議録が見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

- ①鉾田市のホームページへアクセスする。
アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>
- ②市ガイド内の「鉾田市政」をクリックする。
- ③会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、3月頃の予定です。
本会議の会議録(冊子)は、市立図書館で閲覧できます。

鉾田市役所ホームページ 検索

各議員の賛否が分かれた議案等

会議名	議案名	議員名		高埜	井川	渡辺	亀山	二重	郡司	小沼	根寄	水上	入江	岩間	井川	米川	友部	山口	田口	堀田	石津	高野	倉川	採決結果
		反対討論	賛成討論	栄治	倫士	拓哉	彰	作茂兵衛	功	勝	眞	美智子	晃	栄	茂樹	宗司	政徳	徳	清一	正衛	武吉	衛	陽好	
第4回定例会	議案の訂正 (鉾田市スクールバス運行に関する条例の一部改正について)	石津	高埜	○	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	議	●	●	●	●	●	○	○	○	否決
	鉾田市スクールバス運行に関する条例の一部改正について	堀田	高野	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	議	●	●	○	●	●	○	○	○	○	否決
	東海第二原子力発電所の運転期間延長を行わないことを求める請願書	井川	高野	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議	●	●	●	●	●	○	○	○	○	不採決

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 議：議長 退：退席

議員活動状況

H29年10月23日～12月31日

期 日	議会・委員会	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		高埜	井川	渡辺	亀山	二重	郡司	小沼	根寄	水上	入江	岩間	井川	米川	友部	山口	田口	堀田	石津	高野	倉川
10月23日	議会広報編集委員会	-	○	○	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10月31日～11月2日	厚生文教常任委員会行政視察	-	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-
11月9日	百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会	-	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	-	-	○	○	○	-	○	○
11月20日～22日	経済建設常任委員会行政視察	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-	○
11月24日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
11月27日	議会運営委員会	-	-	-	欠	○	-	-	○	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	○	○
12月1日	平成29年第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月5日	平成29年第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月6日	平成29年第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月6日	議会運営委員会	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	○	○
12月7日	平成29年第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月7日	原子力施設の安全に関する調査特別委員会	○	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-	-
12月11日	総務企画常任委員会	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-	欠	-	○	-	-	-	-
12月12日	厚生文教常任委員会	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-
12月13日	経済建設常任委員会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	-	○	○	-	○
12月15日	議会運営委員会	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	○	○
12月15日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月15日	平成29年第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月15日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月15日	議会運営委員会	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	○	○
12月15日	議会広報編集委員会	-	○	○	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-

○：出席 欠：欠席 紹：請願の紹介議員 -：当該委員会等に所属していない議員





「明治150年」の取組みについて

倉川 陽好 議員

問 平成30年は長い鎖国時代を開国して明治時代となり、日本が近代化に向けて歩み始めてから150年の節目となるようです。本年7月には明治150年関連施策の取りまとめが公表され、政府のほか自治体、民間を併せ450以上の施策が、3つのテーマに整理されました。本市でもこれらの歴史から学ぶ取り組みなどを、どのように進めていくかお尋ねします。

ついては、「明治以降の歩みを次世代に遺す施策」、「明治の精神に学び、さらに飛躍する国へ向けた施策」、「明治150年に向けた機運を高めていく施策」と大きく3つのテーマに分類しています。市としても、当地域が明治以降どのように歩んできたかなど、歴史や文化を次世代に伝え遺して行くことは非常に大切であると考えています。

例えば、第15代将軍徳川慶喜が大政奉還期に立ち寄ったとされる田山家やその資料などもありますので、資料の収集・整理・保存、活用などに取り組んでいきたいと考えております。

再質問 これらの施策のために、国では様々な補助事業があるようです。震災で商店街が被害をうけ、このようなチャンネルを活かしてどのように進めていくのか、大きなインパクトのある事業だと思えます。商店街は地域のために祭りなどやってきています。地域の復興イベントの中心になるのは商工会であるのか、まったく考えていない中での検討というところなのか、明確な答弁ではありませんでしたので、市長の答弁を求めます。

答 「市長」行政は縦割り、横の連携が図れない。これは市全体も同じだと思っています。様々な団体と連携を密にし、市民一丸となるよう今後進めて行きます。



小学校の教室へのエアコン設置について

石津 武吉 議員

問 小学校の教室へのエアコン設置について伺います。旭地区は防衛関係の補助金等でエアコンが設置されており、鉾田地区でも統合された鉾田北小学校には防衛その他補助金によりエアコンが設置されております。今後竣工が予定されている鉾田南小学校についても、エアコンが設置されると伺っています。したがって、大洋地区の小学校だけがしばらくの間、取り残されるといった状況となります。

こうした事態に対し、機会均等の立場から、臨時的にレンタルやリース等でも構いませんので、早急にエアコン等が設置されることを強く求めます。この点についてお尋ねします。

答 「教育部長」大洋地区の小学校における空調設備の設置につきまして、大洋地区の統合小学校の整備を進めている段階ですが、平成34年4月の開校予定までに数年間あり、近年の温暖化による学習環境への影響も十分に考慮しなければならぬと考えているところですので。要望のありましたエアコン等の整備につきましましては、費用をできる限り抑えて設置する方法を、レンタル方式を含めて調査・検討しているところで、平成30年度予算に盛り込んでいければと考え準備を進めております。

再質問 できるだけその方向でやりたいという意味で言っているのか、まったく考えていない中での検討というところなのか、明確な答弁ではありませんでしたので、市長の答弁を求めます。

答 「市長」この件については、私も議員時代から何度か質問していますので、前向きな検討とご理解いただきたいと思います。



公共施設の洋式トイレの設置状況について

小 沼 勝 議員

問 公民館や体育館等の洋式トイレ・多目的トイレの設置状況をお尋ねします。また、小学校のトイレについて、小学校統合に関して洋式トイレを増やす取り組みに力をそぐと以前答弁がありました。その後の進捗を併せて伺います。

答 「教育部長」公民館及び図書館のトイレについては、全体の設置数が43基、うち洋式トイレが11基で約25%です。多目的トイレは大洋公民館及び図書館に設置しております。体育施設については、全体の設置数が76基、うち洋式トイレが18基で約23%です。多目的トイレは総合公園及び旭スポーツセンター、くぬぎの森スポーツ公園、大洋運動場など8か所に設置しております。現在改修工事を行っている総合公園体育館については全て洋式トイレとする計画で、今後行う同様の改修工事の際は、高齢者や障害者が利用しやすいよう可能な限り洋式トイレとし、また、多目的トイレにはオストメイトの設置も計画していきたいと考えております。

再質問 総合体育館は再来年の茨城国体クライミング会場となり全国から選手や関係者、応援する方々が大勢訪れますので、全て洋式とすることはもともとだと思います。また、敬老会参加者から、和式トイレの使用は難しく洋式トイレが必要との要望

答 「教育部長」予算的、敬老会その他イベント等を計画している施設については、できる限り早く洋式化の工事を進めていきたいと考えております。

再質問 2km未満の児童は体力増強という観点から、中には障がいのある児童、けがをしている児童も



市政基本方針に掲げられていたスクールバス無料化について

二重作 茂兵衛 議員

問 スクールバス利用に係る保護者負担の軽減について、本定例会で利用料が無料となる条例が提案されています。現在は2km以上の児童が対象となっています。無料となれば、2km未満の児童全員も対象としなければ不公平が生じると思いますが、考えをお伺いします。

答 「総務部長」スクールバス料金の無料化の財源については、統合小学校区ごとに、国のへき地児童生徒援助費補助金が5年間措置されることとなっております。これらの措置が終了した場合は全て一般財源となります。なお、一般財源には普通交付税の基準財政需要額の算定上スクールバスの運行経費が算入されております。

再質問 スクールバス無料は大変結構なことですが、2km未満の児童も同時に無料にしなければ何の意味もないと思います。2km未満の児童が希望すればどこでも乗れるような状況にするか伺います。

答 「教育部長」2km未満の児童については、徒歩通学により一定の体力面の保持ができるといったこともあります。これらもふまえこれまで協議してきた経過もありますので、今後の取り扱いについては再度協議をして決めていきたいと考えております。

再質問 2km未満の児童は体力増強という観点から、中には障がいのある児童、けがをしている児童も





鹿島灘海浜公園 ならびに大竹海 岸周辺の保安林 の管理について

根 寄 眞 議員

問 鹿島灘海浜公園及び大竹海岸周辺地域は、海岸の保安林指定地域となっております。鉾田市が管理する市有地については荒廃している状況にあり、しっかりと機能を果たせるように管理すべきと思われるが、その考え方を伺います。

答 【産業経済部長】保安林とは、水源のかん養、土砂の崩壊その他災害の防備、生活環境の保全・形成等、特定の公益目的を達成するため、農林水

産大臣または都道府県知事によって指定される森林です。市内のほとんどが「飛砂防備保安林」で、砂浜などから飛んでくる砂を防ぎ、隣接する田畑や住宅を守っており、土地所有者が管理することとされています。市所有の保安林は松くい虫被害の予防対策として薬剤散布を実施しており、また、駆除対策として、衛生伐や枯損木伐倒を行っているところとあります。ご指摘の通り荒廃している保安林もありますので、保安

林として機能するよう補助事業等も活用し適正に管理してまいります。

再質問 太平洋を一望できる素晴らしい場所に市有地があり、その周りには県や国の土地もあります。そして廃校となる大竹小学校、そこに海浜公園があるということ、市にとっても財産であると思っています。学校の跡地利用などそういった面もふまえ、保安林としての活かし方、さらに有効活用できる立体的な

活用の仕方を検討していただきたいと思います。

答 【産業経済部長】鹿島灘海浜公園のエリアも含めて鉾田市内の保安林は283ヘクタール程の面積があり、うち市で所有しているのが8ヘクタールです。これまで、県が主体となって9ヘクタールほど植林を行われております。市での実施はありませんので、補助事業等活用し、関係機関と連携をとりながら実施していきたいと思っております。



地域防災力の 向上について

水 上 美 智 子 議員

問 防災計画の策定及び実施の推進を図るために災害対策基本法に基づき市に設置されている防災会議の委員数と、そのうち女性委員の人数を伺います。併せて、地域の防災力向上を図るためには男女共同参画の視点で啓発とリーダー育成が重要になっていくと思いますが、どのように育成していくのか伺います。

答 【総務部長】鉾田市防災会議委員は27名、うち前回平成25年に防災会議を開催した際の女性

委員は1名で、鉾田市消防団女性部長でした。今年度内容修正のため防災会議を予定しており、27名中3名が女性委員となる予定です。また、女性の視点で防災活動を推進するため、女性消防団の充実を図ります。女性消防団員の加入を促進するとともに、地域のリーダー育成を図り、男女の違いを考慮した防災対策を推進します。

再質問 女性の委員が1名では、構造的に女性の意見が出づらいため、女性の意見が出づらいため、

ではと感じます。平成24年の災害対策基本法改正の中で、女性・高齢者・障がい者などの視点が反映されるよう、防災会議において自主防災組織を構成する者または学識経験者を任命するとなっておりますが、27名の構成がどのようになっているのか伺います。

併せて、自主防災組織の女性の加入者数、また職員の防災士育成について進捗を伺います。

答 【総務部長】防災会議条例に委員の規定

があります。その8号で「市長が防災上必要と認めて任命する者」との規定がありますので、女性の意見が反映できるよう今後検討していきます。

また、女性消防団員については現在17名です。防災士につきましては、来年間催の防災士講習会に職員を派遣するよう申込みをしております。

要望 男女共同参画の視点で女性リーダーを育成していただきたい。



新市政での子 育て支援策の ビジョンや施 策について

井 川 倫 士 議員

問 本市は子育てがしやすいまちとは言いがたい現状ですが、市長の考える子育て支援策の現行の問題点を伺います。併せて、公約である「安心の子育て」の具体的な施策と、子育て中のママが集える拠点づくりについて考えを伺います。

答 【市長】現行の問題点の一つが、核家族化の進行に伴う母親の孤立です。母親が育児の孤立感や不安感を抱くことのないようサポートするため、子育て世

代包括支援センターの周知と機能の充実、また、地域子育て支援センターなど交流の場の充実を図ります。

二つ目が、共働き家庭が安心して仕事を続けられるための保育環境の整備です。共働き家庭が増加しておりますので、民間保育所とも連携し保育の受け皿の確保に努めます。

次に、安心の子育ての具体的な施策として、妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援する子育て世代包括支援センターの一層の充実

を図ります。

また、不妊・不育治療助成額の引き上げを検討します。さらに、従来の妊婦健診に加えて産後健診を2回増やし、産後の母親の身体的・精神的状況を把握し、子育て相談と併せてサポートします。

また、子育て世代の遊び場の拡充として、空き家と地域の人材を活用した子育て支援のまちづくりができないか研究してまいりたいと思います。

再質問 子育てと仕事の両立のため、病

児保育や病後保育についても検討していただきたい。

また、地域子育て支援センターの大半が保育園の施設内にあるため、園に通わせていないと利用しづらいという声があります。空き教室や廃校となつた小学校、空き家などお金をかけない新たな拠点づくりをぜひ進めていただきたい。

答 【市長】廃校や空き教室を含め、使える部分は利用していきたい。



オスプレイ飛来と B2核兵器搭載可能 な戦略爆撃機飛来計 画への抗議について

高 野 衛 議員

問 10月29日の航空自衛隊百里基地での観閲式において、墜落事故が発生しているアメリカ海兵隊オスプレイの祝賀飛行が計画され、事前飛行が行われました。

また、アメリカ空軍のB1・B2核兵器搭載可能な戦略爆撃機が飛来を予定し、台風により中止となりましたが、周辺自治体に事前連絡は無く、住民の不安と怒りは広がっており、到底認められることはできません。防衛省に対し抗議を申し入れる

考えがあるかお尋ねします。

答 【市長】航空観閲式におけるオスプレイの祝賀飛行計画については、事前に、来庁した北関東防衛局に対し企画課長より遺憾の意を伝えたと報告を受けています。爆撃機については、報道後に北関東防衛局に確認しましたが、把握していないとのことでした。

また、百里基地周辺5市の首長及び議長の連名で、防衛大臣に対し申し入れを行い、諸問題の解決を強く要望しました。

再質問 防衛省に対する要望書の内容は、抗議の意を表明しているとは言いがたい、爆撃機についても核兵器の使用につながるような行動に対しては、中止を求めなければならぬというのが世論だと思えます。

オスプレイは、3年前の観閲式での展示から、今回は上空飛行になりました。今後、日米共同訓練、さらには配備という可能性も考えられますので、今、市として独自に抗議の意を防衛省に伝えることが大変重要だ

と思いますがいかがですか。

答 【副市長】防衛省への申し入れの際、代表の小美玉市長より、このようなことが二度と無いよう気をつけてやって欲しい旨の厳重な抗議の言葉を伝えております。

要望 「気をつけてやっ」て欲しい」ではなく、「やらないでくれ」というのが抗議の意だと思えます。鉾田市は基地周辺で最も騒音のひどい地域です。そういった面でも百里基地の問題を重視し対応していただきたい。





市長退職金について

郡 司 功 議員

問 市長の退職金を9割カットすると公約していますが、どのような方法で実施するのでしょうか。市長の退職金は、茨城県市町村職員共済組合に、毎月市長の報酬の一部と市の予算である退職手当等負担金を拠出し、任期満了時に報酬の22か月分を退職金として共済組合から支払われます。減額する為には共済組合の規定を変更しなければならず、市長の退職金を市の条例等で減額することはできないのではないかと考

答 【総務部長】市長の退職金は、一期ごとに163万円の額となりますが、これは市長の月額報酬74万5000円の22か月分で計算されるものです。これを9割カットし一割だけ受け取るためには、市長の任期4年目の最終月の月額報酬を「特別職の報酬等に関する条例」を改正し9割カットの7万4500円とすることにより、退職金が7万4500円の22か月分となることから、退職金を9割カットの

163万9000円とすることが可能となるものです。
再質問 退職金は市の予算から支払われるものではなく、4年間で約400万円を共済組合に納めて163万円しかもらわないということになり、得をするのは共済組合で、市税にとつて芳しい内容ではないと思うのですが。
答 【総務部長】市の負担金は約480万円となり、約480万円掛金を積んで、約1600万円受け取るとこ

ろですが、報酬条例を改正することにより市長が実際受ける退職金を163万とすることは可能であり、あとは考え方かと思っています。
再質問 市民は、退職金のカットが市の財政に寄与すると思っておりますが、実際は市長が9割カットしても市の財政には何ら寄与しないということだと思っておりますか。
答 【総務部長】本来市長が受け取る退職金を市長自ら減らしたということ



百里基地ならびに茨城空港のリスクマネジメント体制づくりと騒音・危険地域支援策について

高 埜 栄 治 議員

問 本市は基地所在自治体よりも実質的な騒音被害世帯数が多く、茨城空港開港により、広範囲でリスクが拡大しています。不規則な飛行ルートをとる戦闘機や、空港を離着陸する民間航空機も多く、航空機騒音区域の住民は、落下物や飛行機事故、騒音リスクを背負った生活を強いられています。この環境に対し、市は単独の飛行ルート調査や騒音調査を行っておらず、国県は意図的に最大騒音地区に測定器

を設置しておりません。そこで、基地のまち鉾田の正確な騒音等の現状把握のため、防衛関連交付金を利用して騒音飛行ルートの測定機器等を購入し、基礎データの収集とるささ指針の検証を行い、改善基礎資料を作り、要望活動へ生かしていただきたい。
また、騒音・危険地域の環境改善と支援として、防衛関連交付金については、騒音被害リスクに対し、迷惑地域への還元を主とした

事業化を進めるべきと考えます。リスクマネジメント事業計画の策定や市単独施策等の取り組みについてお尋ねします。また、防衛省民生安定補助金についても、騒音周辺地域の集会施設等の設置・改修、幹線道路改修等に積極的な活用を検討していただきたい。
答 【総務部長】補助金や交付金等を有効に活用しこれまでも事業を進めてきましたが、さらに地元の意見を聞き対応していきます。現在、来年度

に向けた部内協議を行っており、大和田地区住民の意見を聞きながら、新たな施策を検討しているところで。
騒音測定器については、防衛省と協議しながら、市単独での購入も検討し、本来にうるさいところの実態を把握していきたいと考えております。
要望 飛行ルートもチェックできる機器がありますので、購入し常に測定していただきたい。



犬猫の去勢・不妊手術の助成金について

渡 辺 拓 哉 議員

問 犬猫の去勢・不妊手術の助成金については、以前は助成があったのですがなくなりました。県でも殺処分を減らすとがんばっているようです。鹿行地区では鉾田市だけが助成が無く、手術代が1万円から3万円くらいかかり、助成金は3千円から5千円くらいが多いようです。市長の考えを伺います。
答 【市民部長】本件につきましては、昨年第4回定例会において同様の質

問があり、「飼っている方と一緒に市も考えなければならぬ」と認識しており、県内の市町村の動向を見ながら検討したい」との答弁をしたところです。県内の動向としては、44市町村のうち、助成を行っているのが13市町村で、鹿行5市については本市以外では助成を行っている状況です。このことから、本市においても今後助成をすべく早急に要綱を制定し、平成30年度から実施していきたいと考えております。助成の額については、今後

さらに検討してまいります。
要望 助成を是非お願いいたします。ペットは家族です。家族が住みやすい市になっていければと思います。
鉾田のお祭りについて
問 鉾田市のお祭りを一緒に盛り上げるため、市長の鉾田のお祭りに対する考えを伺います。
答 【市長】鉾田の夏祭りには400年以上の歴史をもち、市民の生活文化に深く根付いており、集

客が期待できるお祭りは本市の観光において重要であると考えます。今後もPRや補助等による支援を行うとともに、あらたな賑わいを創出するため、関係機関と調整を図り、更なる地域活性化と観光振興につなげ、地域から「活気あふれる鉾田」を創り上げていきたいと思っています。
要望 祭りも参加者がす。市全体で盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしく願います。



市民交流館建設について

入 江 晃 議員

問 市民交流館について、なぜ白紙撤回なのか、交流館の建設は行わないのか、進行中の交流館ではなく、全く新しい構想で建設を考えるのか、市長の考えを伺います。
答 【市長】市民交流館については、現在の場所、予算規模など全て白紙撤回とし、建設するかしないかも含め、市民の意見を取り入れながら検討してまいります。私は、文化センターや交流館を否定しているわけではありません。

再質問 市民交流館建設については、合併をして特例債が使えるからこそ、その象徴として作ろうと様々な難を乗り越えて進めてきました。白紙撤回となると、旧旭村は合併した意味がなくなってしまうのです。合併したからにはしっかりと市をつくらうと進めてきましたが、鉾田のまちばかりが最後です。このような状況の中で、この市民交流館を大きな象徴として、みんなで集える場所をつくらうと、これを

進めてきた市民もたくさんいます。そういった市民の思いを含め、市長はどう考えますか。
また、交流館がやはり必要だという声が大きく上がってきたときにはどのように進めて行くのか。交流館をつくり、本物を見て、本物に触れて、世界に羽ばたくような人材が育つ環境を整備していくことが行政の務めではないかと思いますが、市長の考えを伺います。
答 【市長】私は、文化を否定しているわけでは

ありません。約50億円に膨れ上がった予算規模、維持管理費等それだけのものが鉾田市に必要なのか、今後の30年50年を見据えて考えたものです。また、旭地区が遅れているといった声もあろうかと思いますが、今後は、地域係を設けて市民の声を拾い上げ、ニーズに合った対応をしていきます。
要望 反対の声は大きく出せませんが、そうではない小さな声も拾っていかねばならないと思います。



委員会活動報告

主な議会の動静



市民交流館 建設について

亀山 彰 議員

問 市民交流館建設について、これまで費やした事業費、人件費等の総額を伺います。

答 【総務部長】まず、整備費に約4億円かかっており、内訳は、基本計画や調査測量等に約3200万円、事務的経費に約700万円となっており。また、人件費は市民交流館事業に関わった職員の給与をもとに算出すると概算で7740万円となります。

再質問 たくさんのお金を費やした事業です。

が、今回中断することで、今後合併特例債をどうするのか。残り8年の合併特例債期間に建てるのか否か、別な事業に組み替えるのか。市長の考えを伺います。

答 【市長】建設するかしないかも含め、検討するということでご承知ください。

再質問 白紙撤回するの方向性を示さなければ合併特例債事業にはならなくなり、30億円以上の損失金を出してしまう事を心配しています。トップリーダーとなったからに

は、自分の考えをきちんと述べて、市長の考え方で中止なら中止で結構だと思います。職員も、何も指示がなく全く動けないような状況は避けるべきだと思いますがいかがですか。

答 【市長】法律家等や市民との会合、検討の場を設けてスピード感をもって進めます。

再質問 公約に掲げ出馬したのですから、その説明責任は非常に大切です。文化施設を建設することについては否定しないとの答弁もありました。つくるとなれば

場所の選定からすべて透明性をもって進めなければならず、つくり計画を変更して事業の組み替えを行い、県や国から承諾を得なければならず、どんどん進めて行かなければ新しいものも何もできません。本当に無駄になってしまっています。それを含め市長の考えるタイムスケジュールを伺います。

答 【市長】ある程度確実なものをつくって出さなければ、安易な気持ちで出すことはできませんので、ご理解いただきたい。

11月

- 10/31日～2日 厚生文教常任委員会行政視察（岡山県奈義町・兵庫県相生市・姫路市）
- 6日 TX茨城空港延伸議会期成同盟会検討会議
- 6日～7日 茨城県市議会議長会第1回議員研修会
- 7日 熊本県宇城市議会行政視察受入
- 9日 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会
- 14日 主要地方道大洗友部線改良促進期成同盟会要望
- 20日～22日 経済建設常任委員会行政視察（北海道帯広市・鹿追町・恵庭市）
- 21日 茨城県東市議会議長会定例会
- 24日 全員協議会
- 27日 議会運営委員会
- 29日 百里基地対策に関する要望活動（防衛省）
- 30日 百里基地対策に関する要望活動（百里基地）

12月

- 1日～15日 平成29年第4回定例会
- 6日 議会運営委員会
- 7日 原子力施設の安全に関する調査特別委員会
- 11日 総務企画常任委員会
- 12日 厚生文教常任委員会
- 13日 経済建設常任委員会
- 15日 全員協議会
- 15日 議会運営委員会／議会広報編集委員会

1月

- 12日 議会運営委員会／正副議長並びに正副委員長会議
- 15日～17日 総務企画常任委員会行政視察（石川県かほく市・輪島市・輪島市商工会）
- 18日～19日 茨城県市議会議長会理事会・定例会
- 25日～26日 議会運営委員会行政視察（佐賀県武雄市・福岡県川崎町）
- 22日 平成30年第1回臨時会
- 22日 議会広報編集委員会
- 30日 国道354号線整備促進協議会県知事要望
- 30日 新春合同政経懇話会
- 30日～31日 議会広報編集委員会行政視察（埼玉県小川町・山梨県昭和町）

百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会

10月18日に百里基地において発生した戦闘機F4の火災事故について、10月20日に航空自衛隊百里基地司令に対して、事故原因の究明及び徹底した再発防止対策、市議会への詳細な説明を求める申し入れ（下段に全文）を行いました。

また、10月29日に百里基地で予定されていた航空自衛隊観閲式に、周辺地域に十分な周知を行わないまま米海兵隊MV-22オスプレイ及びB1・B2戦略爆撃機の祝賀飛行が計画されたことに対して、11月9日に委員会を開催し、防衛省への委員会の対応についてなどを協議しました。



百里基地F4EJ改の地上の脚の不具合による火災事故に対する申し入れ

10月18日午前11時47分頃に発生した百里基地F4EJ改の火災事故について連絡を受けました。全国で自衛隊航空機の事故が相次いでいる中において、このような事故が発生させたことは誠に遺憾であります。

百里基地においては、過去にも所属の航空機から部品の一部が落下する事故が発生しており、その度に貴職に対し本議会から事故等の原因究明と再発防止を求めてきたところであります。

10月29日には観閲式も控えており、地域住民には不安が広がっております。今後においては、より一層の安全管理を図るとともに、今回の事故原因の究明及び徹底した再発防止対策を講じるよう強く求めます。また、事故原因が明らかとなった際には、本市議会に対し、詳細な報告を求めます。

熊本県宇城市議会建設経済常任委員会が視察研修で来庁

期日：平成29年11月7日（火）

本市で行っているブランドアップ事業について研修するため、熊本県宇城市議会建設経済常任委員会が来庁しました。

研修では、産業経済課職員により、本市の農業における現状やブランドアップ事業の詳細について説明がありました。

また、銚田市のメロゲン生産農家数やブランドアップ事業における加工品等の認証制度の詳細についての質疑があり、活発な意見交換を行うことができました。



委員会活動報告

厚生文教常任委員会行政視察

期日：平成29年10月31日(火)～11月2日(木)

子育て支援について調査するため、岡山県奈義町及び兵庫県相生市に、小中一貫教育について調査するため兵庫県姫路市に行政視察を行いました。

奈義町では、人口減少及び少子高齢化が早い時期から進んでいたため、平成23年に「奈義町子育て宣言」を行い、子育て支援の充実、定住・就労施策の推進を図りました。幅広い施策を切れ目なく続け、平成26年には合計特殊出生率2・81を達成しました。

相生市では、財政の健全化を進める中で人口減少対策を最重要課題とし、子育て世代をターゲットに定住促進に努めました。子育て施策「11の鍵」として、新婚世帯の家賃補助や子ども医療費助成など11項目を柱に総合的な支援に取り組んでいました。

姫路市では、小中共通の教育目標を設定し、9年間を見通した一貫した指導、小中教職員による協働実践による小中一貫教育に取り組む、発達段階に応じたつながりのある指導を意識し教育を行っていました。



経済建設常任委員会行政視察

期日：平成29年11月20日(月)～22日(水)

移住定住の取組みを調査するため北海道帯広市に、バイオガスパラントを視察するため北海道鹿追町に、商工業を振興するための中小企業振興条例について調査するため、北海道恵庭市に行政視察を行いました。

帯広市では、平成28年に定住自立圏共成ビジョンを策定し、移住相談窓口、移住体験UIターン希望者向け窓口を設置するなどの移住促進事業に取り組んでいました。

鹿追町では、乳牛の排泄物や生ごみ等を発酵させバイオガスを生成するバイオガスパラントを核とした取り組みを行っていました。熱エネルギーを活用したチョウザメの飼育、自動車・農業機械の燃料等への活用などを行い、家畜糞尿や下水等の処理対策に成果をあげています。

恵庭市では、中小企業振興基本計画等を作成し、市民アンケート調査を行うなど市・企業・市民それぞれの企業振興の役割をまとめ、豊かさを描く恵庭のまちづくりを進めていました。



請願審査

原子力施設の安全に関する調査特別委員会請願審査

期日：平成29年9月14日(木)
12月7日(木)

付託された請願

「東海第二原子力発電所の運転期間延長を行わないことを求める請願書」

審査内容

平成29年9月14日の審査では、同様の請願が17市町村で採択されているが、東海第二原発周辺の市町村は含まれていないため、周辺市町村の動向を注視する必要があるとの意見や、原子力規制委員会の運転延長に対する審査を待ってから結論を出すべきとの意見、県知事は避難計画を作成中であり全てを見据えてからなどといった意見があり、全会一致で継続審査となりました。

12月7日の審査では、市議会の意思を表すものとして意見書を提出すべきという意見もありましたが、請願者が1団体であり世論の盛り上がりがない中で請願を採択すべきではないとする意見や、日本原子力発電株式会社は東海第二原子力発電所の運転期間延長申請をしたばかりで、その最中に本請願の採択をすべきではないといった反対意見もありました。

採決の結果、本委員会では賛成少数で不採択となりました。

鉾田市議会報告会を開催します！

本市議会では市民と一体となった自治体運営を目指すため、議会活動の状況を市民の皆様へ直接報告・説明し、市政に対する情報の提供に努め、さらには市民の皆様の市政に対するご意見などを直接聴取する機会を得るために、議会報告会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。



日時：2月3日(土)
午後2時から
場所：鉾田市
福祉事務所2階

議会を傍聴してみませんか

鉾田市議会では、定例会が原則として、3月、6月、9月、12月の年4回開催され、本会議は通常午前10時に開会となります。

本会議は公開されており、原則としてどなたでも傍聴できます。傍聴を希望される方は、当日に市役所3階の議会事務局までお越しいただき、鉾田市議会傍聴人受付簿に住所、氏名、年齢を記入していただくようお願いします。

また、鉾田市議会のホームページでも議会の様子を生中継しておりますのでご覧ください。

会派の解散について

平成29年11月24日に、志政会が解散しました。



傍聴者の声



小貫 洋子

今回、第4回市議会定例会の一般質問最終日の傍聴をさせていただきました。中でも、各議員さんとも市民交流館について質問され、「建設計画も大詰め段階にきているのになぜ白紙撤回なのか」の質問に、対案が示されないまま閉会となってしまったのは残念でした。本来、厳粛であるべき傍聴席が終始ざわつき、ヤジが飛びかっていたのには驚きでした。市民のため銚田市発展のために奮闘してくださっている議員の皆様に感謝です。

平成30年第1回(3月)定例会日程(予定)

月 日	会 議 内 容
2月27日(火)	本会議 開会
3月2日(金)	会派代表者質問
3月5日(月)	一般質問
3月6日(火)	一般質問
3月7日(水)	一般質問
3月9日(金)	本会議
3月12日(月)	予算特別委員会
3月14日(水)	予算特別委員会
3月15日(木)	予算特別委員会
3月16日(金)	常任委員会
3月19日(月)	常任委員会
3月20日(火)	常任委員会
3月23日(金)	本会議 閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成29年第4回(12月)定例会の延傍聴者数129名



東関東自動車道銚田IC～茨城空港北IC区間開通記念イベント

編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。市民の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

昨年11月より岸田市政がスタートいたしました。市議会も補欠選挙が行われ、定数20名が揃い、新たな気持ちで議会が開催できました。事に、何故か心の躍動感を覚えました。岸田市長の誕生により、議員一人ひとりが、市民の代表としての責任と自覚、更には議員力のアップを目指さなければならぬと、あらためて実感したことと思います。銚田市発展のため原点に立ち返り、日々、自分が成長し新しい挑戦を重ね練磨していく決意です。

お陰様で、ほこた市議会だよりも50号の節目を迎えることができました。更に多くの皆様に読んでいただける議会広報を目指してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

(入江 晃委員 記)

委員長
副委員長
委員

渡辺 拓哉
小沼 勝
石津 武吉
入江 晃
郡司 功
井川 倫士



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用